

# 全日本花卉品種審査会（パンジー・ビオラ）について

## －秋出しポット栽培－

### 1 新しい品種(又は種畜)の内容

#### (1) 背景・目的

花壇苗生産は花回廊のある県西部を中心に全県で栽培され、花き品目（シバを除く）の中で最も生産額が多い。中でもパンジー・ビオラは花壇苗生産者のほぼ全戸が栽培する重要品目である。

最近、全国的な生産の増加に伴い価格の低迷が問題になっている。毎年、100近い新品種が発表されるが、その中から、地域の気象条件等に適した品種を見出して栽培することで、有利に販売できる。

そこで、(社)日本種苗協会が主催する全日本花卉品種審査会を実施し、その結果をまとめたので、品種選定の参考としていただきたい。

#### (2) 審査結果の要約

- 1) 1等特の‘ソルベXPレモンアイスブロッツ’は、下弁が明るい黄色、上弁が白でブロッツ有り。供試品種中最も早く開花し、小花が非常に多く、コンパクトに仕上がるのが特徴である。
- 2) 2等の‘ソルベXPモルフォ’は、下弁が黄色と紫のグラデーション、上弁が紫でヒゲがある。小花数は少ないが、葉色が濃く、花梗や葉柄が短く草姿が良い。
- 3) 3等の‘ソルベXPマリーナ’は、花卉が淡い青色で中心が白く、ヒゲがある。‘ソルベXPレモンアイスブロッツ’と同等の早生品種で、小花が非常に多く、コンパクトに仕上がる。
- 4) 同じく3等の‘685’は、花卉が淡い青紫で中心が白と黄色、フェイス状のヒゲがある。株張りが旺盛で、花茎が伸び気味になるが、小花が多い。
- 5) 同じく3等の‘SK1-1135’は、下弁がオレンジ、上弁が赤紫で僅かにヒゲがある。小花数と花梗の伸び具合に個体差がみられるが、株張りが旺盛である。

### 2 試験成果の概要

- (1) 2013年8月27日にパンジー・ビオラ14品種を、288穴プラグトレイに播種した。発芽までは、昼夜25℃の簡易冷房トンネル内で底面吸水とした。発芽後は40%遮光した雨除けハウス内へ移動し、頭上灌水とした。鉢上げは9月24日に、9cm黒丸ポリポットへ72苗ずつ(2反復)移植した。
- (2) 鉢上げ用土は、熟成籾殻、鹿沼土・赤玉土、ピートモス、パーライトを等容量ずつ混合した。基肥は、用土1L当たり苦土入りセルカ2号5g、BM熔燐2.5g、過燐酸石灰5g、水酸化マグネシウム5g、鳥取花複合1号を1g施用した。わい化剤は無処理とした。
- (3) 20℃恒温器内シャーレおよび圃場での288穴プラグトレイにおける播種14日目の発芽率は、全品種70%を上回った(表2)。
- (4) 生育期間中の気温が平年に比べて高く、いずれも株張りが旺盛で、10月下旬には全株が開花した。審査会は11月13日に行われ、5品種が入賞した(表1、図1)。
- (5) 審査会後は圃場に定植し、冬期間の開花状況などを調査した。その結果、2月の小花数は、全品種が定植時より大幅に増加した(データ省略)。

表1 入賞品種一覧

等級	平均点	品 種 名	出品メーカー
1等特	84.60	ソルベ <sup>®</sup> XPレモンアイス <sup>®</sup> ロッチ	(株)ミヨシ
2等	83.60	ソルベ <sup>®</sup> XPモルフォ	(株)ミヨシ
3等	82.20	ソルベ <sup>®</sup> XPマリーナ	(株)ミヨシ
3等	82.40	685	(株)ムラカミシード
3等	82.70	SK1-1135	(株)サカタのタネ

注) 平均点：品種審査会における審査員35人の平均点

表2 入賞品種の発芽率および開花状況

品 種 名	発 芽 率 (%)				開 花 日 (月/日)		
	20℃：シャーレ		圃場：プラグトレイ		始め	60%	100%
	7日目	14日目	7日目	14日目			
ソルベ <sup>®</sup> XPレモンアイス <sup>®</sup> ロッチ	22.0	70.5	53.5	93.5	10/15	10/19	10/22
ソルベ <sup>®</sup> XPモルフォ	23.5	71.0	28.5	92.0	10/22	10/25	10/27
ソルベ <sup>®</sup> XPマリーナ	49.0	79.5	36.0	88.0	10/18	10/22	10/25
685	65.0	77.5	58.5	74.5	10/19	10/23	10/26
SK1-1135	63.5	84.0	59.0	93.0	10/22	10/26	10/30

注) 20℃：恒温器シャーレ内での発芽。  
圃場：簡易冷房育苗トンネル（昼夜25℃）内、288穴プラグトレイでの発芽。  
発芽率は、いずれも100粒播種し2反復調査した。



図1 入賞品種の草姿

### 3 普及の対象及び注意事項

(1) 普及の対象

県内全域

(2) 注意事項

1) いずれの品種も今後、各メーカーより販売予定である。

### 4 試験担当者

〔 花き研究室 室長 岸本真幸  
                  研究員 米澤 朗           〕